

## イニシアティブ／外部評価

### イニシアティブ

#### 国連グローバル・コンパクトへの参加

2018年5月、三菱電機グループは、国際的な規範に基づいたサステナビリティ活動を推進するため、「国連グローバル・コンパクト※」に署名しました。

三菱電機グループは社会に対して与える影響を認識しながら、「人権」、「労働」、「環境」、「腐敗防止」の4分野10原則を遵守・実践し、国連機関や関連するイニシアティブとコミュニケーションを取り、活動の向上に努めます。

[web](#) 国連グローバル・コンパクト

※ 持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取組み



#### SBTイニシアティブの認定を取得

2030年に向けた三菱電機グループの温室効果ガス削減目標が、「パリ協定」における「地球の気温上昇を産業革命前の気温と比べて2°C未満に維持する」ための科学的な根拠に基づいた目標であると承認され、SBT (Science Based Targets) イニシアティブの認定を取得しています。

[web](#) 三菱電機グループの温室効果ガス削減目標がSBTイニシアティブの認定を取得



#### TCFDの提言への賛同を表明

三菱電機グループは、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD: Task Force on Climate-related Financial Disclosures) の提言への賛同を表明しており、TCFDの提言に従った取組みの推進、及び情報の開示を行っています。

[web](#) 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に基づく開示情報



#### クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンスへの加入

三菱電機は、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス (以下、CLOMA※)」に、2023年4月1日付で加入しました。三菱電機のプラスチックリサイクル技術の活用を通じて、海洋プラスチックを含む廃プラスチック問題の解決に向けた取組みを加速することで、さらなる循環型社会の実現に貢献していきます。

[web](#) 「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス (CLOMA)」に加入



※ Clean Ocean Material Alliance

#### GXリーグに参画

三菱電機は、経済産業省が公表した「GXリーグ」に参画しました。「GXリーグ」とは、GX (グリーントランスフォーメーション) に積極的に取り組む企業が、行政や大学・公的研究機関、金融機関でGXに向けた挑戦を行うプレイヤーと共に、一体として経済社会システム全体の変革のための議論と新たな市場の創造のための実践を行う場です。三菱電機はGXリーグの活動を通じて、GX実現に向けた取組みを推進していきます。

[web](#) 経済産業省「GXリーグ」に参画



#### RBAへの加盟

2022年2月、三菱電機はグローバルサプライチェーンにおいて社会的責任を推進する企業同盟であるResponsible Business Alliance (以下RBA) に加盟しました。今後はグローバル基準であるRBA行動規範と自社の取組みを整合させ、自社のサステナビリティの取組みの継続的な改善を進めていきます。

[web](#) Responsible Business Alliance (RBA) への加盟について



#### JaCER発足メンバーとして加盟

三菱電機は、企業の苦情処理の支援・推進を目指して2022年6月に設立された一般社団法人ビジネスと人権対話救済機構 (JaCER) に発足メンバー (正会員) として加盟しました。今後は苦情処理メカニズムの強化を図り、引き続き、人権が尊重される社会の実現に貢献していきます。

[web](#) 一般社団法人ビジネスと人権対話救済機構に発足メンバーとして加盟



#### そのほかの参画している主なイニシアティブ

- 一般社団法人日本経済団体連合会
- 環境省 (生物多様性のための30by30アライアンス)
- 公益社団法人経済同友会
- 日本商工会議所
- 一般社団法人電子情報技術産業協会
- 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会
- 一般社団法人日本電機工業会
- 一般社団法人日本機械工業連合会
- 一般社団法人産業競争力懇談会
- 一般財団法人日本規格協会
- 一般社団法人日本知的財産協会
- 公益社団法人発明協会

## 外部からの評価

### ポジティブ・インパクト・ファイナンス

三菱電機は、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクトを包括的に評価・モニタリングし、SDGsの達成に貢献する企業活動を継続的に支援することを目的とした「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」融資契約を株式会社三菱UFJ銀行と締結しました。本契約の締結にあたっては、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より定性的、定量的評価を受け、株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

[web](#) 三菱UFJ銀行と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

### CDP

三菱電機は、CDPからの「サプライヤー・エンゲージメント評価」において「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。また「気候変動」「水セキュリティ」の分野ではともに「A-」（リーダーシップレベル）の評価を受けています。

[web](#) CDPサプライヤー・エンゲージメント評価で最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に3年連続、通算6回目の選定



### EcoVadis

国際的な評価機関であるEcoVadis社のサステナビリティ評価において、調査対象全体の上位50%内にあたる企業として「ブロンズ」を獲得しました。



### FTSE各種インデックス

FTSE（英国）は世界的な投資インデックスの開発と金融データ提供を行う企業です。三菱電機はFTSE4Good Index Seriesの構成銘柄に、採用されています。

また、三菱電機はFTSE Blossom Japan Index、及びFTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄として採用されています。両インデックスは年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の運用対象としても選定されています。



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

### MSCI各種インデックス

MSCI（米国）は世界の銘柄に対して様々な指数を算出・公表しています。

三菱電機は、日本の中で性別多様性に優れた企業を選別して構成したMSCI日本株女性活躍指数（WIN）に採用されています。このインデックスはGPIFの運用対象としても選定されています。

※ MSCI指数への三菱電機株式会社の組み入れ、および本項におけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたは関連会社による三菱電機株式会社への後援、推奨、広告宣伝ではありません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCI指数の名称およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。  
※ THE INCLUSION OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

2023 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

### S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

三菱電機は、炭素効率性に優れた企業を対象とするS&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に採用されています。同指数は環境評価機関であるTrucostによる炭素排出量データをもとに、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスに構築されGPIFの運用対象としても選定されています。



### PRIDE 指標2022

三菱電機は、日本の職場におけるLGBTQ等の性的マイノリティー（以下、LGBTQ）への取組み評価指標「PRIDE 指標 2022」にて「ゴールド」を受賞しました。LGBTQへの継続的な取組みが評価され、2021年の「シルバー」受賞に続き、三菱電機として初めての「ゴールド」受賞となりました。

[web](#) 「PRIDE 指標2022」における「ゴールド」を受賞



### えるぼし

三菱電機は、女性の活躍推進に関する取組みを推進する優良企業として、厚生労働大臣認定「えるぼし（2段階目）」を取得しています。

